



令和6年8月19日

報道機関 各位

ふくい Arts Center and Residence プロジェクト実行委員会

ZEN AIR –Artist In Residence EIHEIJI

(2024年度アーティスト滞在プログラム) についての告知、
滞在アーティスト決定の掲載と取材のお願い

時下、貴台におかれましては益々ご清祥のことと、お慶び申し上げます。

ふくい Arts Center and Residence プロジェクト実行委員会では、2023年度より「ZEN AIR –Artist In Residence EIHEIJI」と題して、永平寺町内でアーティスト・イン・レジデンスを実施しています。

5月21日より公募しておりました本年度の滞在アーティストについて、7月の審査会を経て、Camila Svenson 氏、Miao Li 氏の2名が選出されました。詳細は別紙1～5をご覧ください。

(別紙1：プログラム概要、別紙2：プロフィール、別紙3：審査総評、別紙4：参考資料、別紙5：広報用画像)
つきましては、当活動を広く周知したく、取材いただきますようご案内申し上げます。

※アーティスト・イン・レジデンス：国内外の芸術家を一定期間招へいして滞在中の活動を支援。
芸術家という創造的な資源を活用し、地域活性化を図る活動。

※滞在期間中(9月4日～11月28日)、随時取材・撮影を受け付けております。

アーティストは、永平寺本山はもちろん、町内を巡って歴史、文化、風土に触れ、地域の人と交流し制作のヒントを探していきます。

Camilaさんは写真や映像を、Miaoさんは立体造形を表現手段としている方です。

詳細は下記担当までお問い合わせください。

ぜひ取り上げていただけますよう、お願い申し上げます。

【問合せ先】

ふくい Arts Center and Residence

プロジェクト実行委員会

担当：後藤（福井県交流文化部文化・スポーツ局文化課）

TEL：0776-20-0582 FAX：0776-20-0661

E-mail：zen-air@pref.fukui.lg.jp

ZEN AIR – Artist In Residence EIHEIJI について

1 プロジェクト名 ZEN AIR - Artist In Residence EIHEIJI
(ぜん・えあー あーていすと いん れじでんす えいへいじ)
(英字略称:ZEN AIR EIHEIJI、カタカナ略称:ゼン・エアー・永平寺)

2 主催 ふくい Arts Center and Residence プロジェクト実行委員会
(ふくい あーつせんたー あんど れじでんすぷろじえくとじっこういいんかい)
構成団体：福井商工会議所、永平寺町商工会、(一社)永平寺町観光物産協会、
(株)ミツヤ、(公社)福井県観光連盟、永平寺町、福井県

3 目的

福井県永平寺町は、曹洞宗大本山永平寺の存在により「禅の里」として全国に知られている町です。本プログラムでは、美術作家（以下、アーティスト）等が、禅文化に触れ禅や地域についてリサーチをし、地元住民と交流しながら制作・研究をする機会を提供いたします。アーティスト等には、それらの活動を通じて制作した作品や研究成果を発信してもらいます。

本事業はアーティスト等のサポートをおこなうと同時に、町に息づく禅の精神・文化がアーティスト等の目線で引き出されることにより、地域への愛着、芸術文化への関心を高めるとともに、人と人、人と文化など様々な「つながり」を生むことを目的とします。

4 プログラムの概要

福井県永平寺町に、2組のアーティストが滞在し、制作、リサーチ等を行います。
7月下旬にかけて応募者109組に対して1次審査、2次審査を実施。禅・永平寺との関連、地域への波及力、地域資源の活用等の観点を考慮しZEN AIRにふさわしい2名のアーティストが決定いたしました。

9月～11月にかけて永平寺町へ滞在し、リサーチ、ワークショップ、発表展示を行います。

※詳細は、公式サイト・SNS等でご覧ください。(別紙4参照)

5 今後の予定

9月 アーティストが永平寺町へ。

指定のレジデンス(宿舎)で暮らしながら地域をリサーチする。

10月 リサーチ、制作活動、ワークショップを開催

11月 公開制作、成果発表を開催

※アーティストの滞在期間は 9月4日～11月28日までです。

■アーティスト 1

Camila Svenson (カミラ・スヴェンソン)

<https://camilafsvenson.wixsite.com/camilasvenson>

ブラジル国籍、ブラジル在住

1989 年 生まれ 34 歳

2011 年 Panamericana School of Arts and Design Photography 専攻 卒業

2013 年 Centro Universitário SENAC Audiovisual 専攻 卒業

2015 年 International Center of Photography Visual Journalism & Documentary Photography 専攻 修了

2019 年 FAAP Contemporary Artistic Practices 専攻 修了



カミラ氏は、サンパウロを拠点に美術作家、写真家、ライターとして活動するクィア (Queer) のアーティスト。カミラ氏は、人と記憶、場所の関係が、時間の作用によってどのように変化していくかに興味を持っている。また、作品制作の過程で、参加型の手法を用いて他者を創造的なプロセスに巻き込みながら、「出会い」がどのように起こり、それが写真を媒介することで、いかに変容していくのかを研究している。

<活動プラン>

高齢女性に焦点をあてたポートレート作品の制作。

期間中、高齢の女性たち (デイホームなどのコミュニティセンター) を訪問し、数週間かけて、インタビューを行い、最初のアプローチとして写真を撮り、さらに音声とビデオを記録して、ポートレートを作成する。彼女たち自身のプライベートな空間を浮かび上がらせ、構築していく予定。

彼女はこれまでも年老いた祖母をはじめ、多くの人々にインタビューを行い、作品を制作してきた。今回はこのプロセスを整理し、最終的に女性たちにまつわるオブジェなどを加えたインスタレーションを発表することを考えている。

【主な展覧会】

2017 年 個展「you will never walk alone」(Museum of Image and Sound/ブラジル)

2019 年 「Zip up」(Zipper Gallery/ブラジル)

2021 年 「Intersections」(Pará State Museum/ブラジル) 等多数

【アーティスト・イン・レジデンス経験】

2020 年 Kooskh Artist Residency (イラン) 等多数

【これまでの作品】



「SLOW RIVER」 2024 年 写真

ブラジルで2番目に観光客が訪れるフォス・ド・イグアスは、イグアスの滝で知られている。また、ブラジル、パラグアイ、アルゼンチンの国境地帯でもある。この研究では、観光業がこの地域をどのように変えたのか、そしてこれらの変化が都市の物理的空間にどのように置き換えられているのかに興味をもって調査している。



「Fictions」 2023 年 写真

「Fictions」は、日々の旅のふとした瞬間を撮り集めた写真集で、現在も撮影を継続中である。長年にわたる都市の発展によって、地域や土地がどのように変化するかに興味をもって調査している。

■アーティスト2

Miao Li (ミャオ・リー)

<https://miaoli.nl/>

中国国籍、オランダ在住

1996 年 生まれ 28 歳

2018 年 China University of Mining and Technology

Industrial Design 専攻 卒業

2023 年 ArtEZ University of the Arts Product Design 専攻 卒業



ミャオ氏は、オランダのアーネムを拠点に活動する中国人アーティスト／デザイナー。

工芸、植物素材、アニミズム的宇宙観などを作家活動の中心に置いている。人間と自然の多面的な関係を問い直し、再文脈化するための比喩的な表現として、儀式に使われる道具からインスピレーションを得た作品などを制作している。

<活動プラン>

本人は長く瞑想や仏教、禅に関心を持っており、それらが現在の表現につながっている。

中国を祖国とし、オランダで暮らすミャオ氏は、今回のレジデンスを「リコネクト（再接続）」と呼び、東洋文化のバックボーンを持ち西洋圏に暮らす自身があらためて東洋的な思想や文化に触れ、それにより自身の表現を見つめ直す機会だと捉えている。

ZEN AIR では現地の自然や植物の生態を調査し、永平寺町に伝わる職人技や伝統工芸を学ぶとともに、禅体験を生かした自然素材による作品やインスタレーションを制作する予定である。

【主な展覧会、受賞歴】

2020 年 Design Contest Cor Unum (受賞 (第一位) / オランダ)

2022 年 Chacycle (展覧会 / オランダ)

2022 年 Crafting Imperfections of Tea Clay (展覧会 / オランダ)

2023-2024 年 Re-STORY-ation: Weaving Creators, Communities, and Connections (展覧会 / フィリピン)

【アーティスト・イン・レジデンス経験】

2024 年 5 月 ArtEZ Cultural Making (オランダ)

【これまでの作品】



Ring

2024 年

藤、リネン糸、和紙テープ

95×95×40cm



Ancestor Call

2024 年

藤、ウッドステイン、綿糸、ウール糸、和紙、テープ

145×200×110 cm

○黒澤 浩美 氏（金沢 21 世紀美術館チーフ・キュレーター／学芸部長）

このたびの審査において、世界にこれだけ「禅」に関心を寄せる研究者や表現者がいると知ることは、それだけで大きな喜びであり感心したことでもある。経歴や滞在の動機は各自さまざまであるが、ユニークな視点を持つ提案が、滞在によってどのような変化や展開を見せるか楽しみである。Miao Li は禅の実践の経験もあり、自然の中に素材を探し、自らの手で創作することを通じて、言葉やイメージに頼らない表現を探求している。アジアの出自で西欧に暮らす自身の現在を振り返り、文化的背景の違いを超えるような、あるいは違いを繋ぐ創作活動になるよう期待したい。Camila Svenson は地域の人々との対話と彼等のポートレイトを撮影して「生」の現れを写真に映したいと言う。このプログラムの滞在が、日常に禅の教えが浸透している永平寺町であることを踏まえれば、暮らしの中に入ることで、地域の人々の心の内を動かすような写真を以て、等身大のコミュニティの形を示すことができるものと思う。

○湊 七雄 氏（美術作家／福井大学教育学部教授）

昨年に引き続き、アーティスト・イン・レジデンスの審査に関わらせていただいた。国内外から 109 件もの応募をいただき、その中でも特に海外アーティストからの応募が数・質ともに充実していた点が印象的であった。日本の禅文化への関心や、永平寺の持つ影響力の大きさを改めて実感することができた。

レジデントアーティストの審査は、単なる「選ぶ」作業ではなく、どれだけ「マッチング」できるかが重要である。アーティストを一定期間受け入れることで、永平寺という場所やそこに住む人々にどのような変化が起こるのかを見定めることが大切だ。提案されたプランを丁寧に見ながら、その可能性を慎重に評価した。

レジデントアーティストの滞在は短期間だが、その期間に生まれる出会いや発見はアーティストの中でずっと生き続け、彼らの創作キャリアを長期にわたって支えることになる。今回選出された二人のアーティストは、これまでの実績や提案企画の素晴らしさに加え、永平寺との相性も非常に良いと感じた。

このプログラムを通じて、さらなる創造の可能性が広がることを期待している。暖かく見守っていただけることを祈っている。

○窪田 研二 氏（インディペンデントキュレーター／ZEN AIR ディレクター）

今回 2 回目となる公募では、昨年の応募件数 (67 件) を大きく上回り、合計 109 件の応募があった。その中でも特徴的だったのは、海外からの申請が多かったことで、ほぼ世界中の地域から応募があったことは 2 回目にして早くも「ZEN AIR」が広く認知されて来たことを示している。内容的にも「禅」や「瞑想」の研究や実践を長く行ってきたアーティストからの応募が多く、ZEN AIR での活動計画も全体的にレベルの高いものが多かったように思う。その中で Camila Svenson と Miao Li は、これまでのアーティストとしての実践に加え、新たなチャレンジを永平寺町で行う計画が明確にあり、本レジデンスに参加する必然性が高いと評価を受け、最終的に本年度のレジデンス・アーティストとして選考された。二人が永平寺町に滞在し、地域住民との交流や禅体験などを通じて、地域とどのような化学反応が起きるのか今からとても楽しみにしている。

※こちらの資料は、5月にプレス・リリースしたものからの抜粋になります。

■ ディレクター紹介

ZEN AIR ディレクター (プログラム監修)

窪田 研二 (インディペンデント・キュレーター)

上野の森美術館、水戸芸術館現代美術センター学芸員を経て2006年より現職。多様な社会システムにおいてアートが機能しうる可能性をアーティストや大学、企業などと協働し、様々な文化的フォーマットを用いて試みている。

「六本木クロッシング 2010」(森美術館、2010)、

「Asian Art Biennale」(国立台湾美術館、2017-2018)、「Reborn-Art Festival 2021-22」(宮城県石巻市、2021-2022) 他、国内外の展覧会キュレーションを多数手がける。

現在、SNOW Contemporary ディレクター、川村文化芸術振興財団理事



～ディレクターより～

ZEN AIR は曹洞宗総本山永平寺の位置する禅の里、福井県永平寺町にアーティスト、研究者、キュレーターを招聘し、禅とアートについての思考を深め、創造性を探究する機会を提供する新たなアーティスト・イン・レジデンスのプログラムです。

禅の思想や実践は、ナム・ジュン・パイクやジョン・ケージをはじめ、これまでも世界中のアーティストに影響を与え、想像力を刺激してきました。ZEN AIR は禅の精神や思想に学びながら、この時代における人の生き方や世界のあり方を見つめ直す良い機会となるはずです。

■ ロゴマークと意味について



ZEN AIR

Artist In Residence EIHEIJI

コンセプト

Point.1 禅の思想を想起させるミニマルなデザイン

Point.2 「ZEN AIR」の文字をグリッドに、
作為性を極力排したジェネレーティブな構成

Point.3 「交差する道」を図案化したラインパターンにより、
地域のリサーチや地元住民との交流など、本プログラムの特徴を想起

ZEN AIR ウェブサイト・ロゴ アートディレクション
尾崎拓磨 (デザイナー、アーティスト) 神奈川県在住

■ 公式サイト、SNS 等

- ZEN AIR EIHEIJI 公式サイト <https://zen-air.org/>

2023 年度 活動記録集も公開しています。

- SNS では活動の様子を発信してまいります。

Instagram @zenaireiheiji <https://www.instagram.com/zenaireiheiji/>

Facebook ZEN AIR Eiheiji (ゼン・エアー永平寺) <https://www.facebook.com/zenaireiheiji>

- YouTube では 2023 年度の活動の様子をまとめた映像を公開しています。

YouTube @ZEN AIR EIHEIJI <https://www.youtube.com/@ZENAIREIHEIJI>

広報用画像

以下の画像を広報用に提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、事務局へお申し込みください。(Email: zen-air@pref.fukui.lg.jp)

【使用条件】

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

以上、ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願いたします。

○2024 年度 滞在アーティストおよび過去作品写真

(アーティスト1 Camila Svenson 氏)



Camila Svenson



SLOW RIVER 2024 年 Camila Svenson



Fictions 2023 年 Camila Svenson

(アーティスト2 Miao Li 氏)



Miao Li



Ring 2024年 Miao Li



Ancestor Call 2024年 Miao Li